

1 一般管理事項

番号	対策の名称																																																		
④	外部機関による省エネ診断																																																		
内容	<p>設備の性能や運用ノウハウに詳しい外部機関による省エネ診断を受診することで、事業所における課題の発掘や新たな対策の検討を行います。</p> <p style="text-align: center;">＜一般的な診断の流れ＞</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD     A["① 診断機関と打ち合わせ ・診断目的と対象"] --&gt; B["② 基本情報提供 ・エネルギー使用量 ・エネルギー使用設備リスト"]     B --&gt; C1["③ 診断実施 ヒアリング及び ウォークスルー"]     B --&gt; C2["③ 診断実施 ヒアリング及び 計測"]     C1 --&gt; D["④ 結果のまとめ ・課題 ・対策 ・対策の期待効果 ・投資金額"]     C2 --&gt; D     D --&gt; E["⑤ 報告"]     E --&gt; F["⑥ 対策実施、効果確認"]             </pre> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">↑ 1ヶ月 ↓</p> </div> <p style="text-align: center;">＜診断結果の例＞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 10%;">削減量 (kL/年)</th> <th style="width: 10%;">削減金額 (千円/年)</th> <th style="width: 10%;">投資額 (千円)</th> <th style="width: 10%;">回収年 (年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>省エネ検討組織体制の整備</td> <td>1</td> <td>100</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ボイラーの運用変更</td> <td>1.5</td> <td>125</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ボイラーの空気比低減</td> <td>0.5</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空調設定温度の緩和</td> <td>2.0</td> <td>150</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空調室外機のフィン清掃</td> <td>2.0</td> <td>140</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>冷水ポンプインバータ化</td> <td>5.0</td> <td>800</td> <td>1,600</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>空調機の間欠運転</td> <td>15.0</td> <td>1,200</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>天井照明の間引き</td> <td>0.5</td> <td>55</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>天井蛍光灯のLED化</td> <td>6.0</td> <td>500</td> <td>5,000</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		削減量 (kL/年)	削減金額 (千円/年)	投資額 (千円)	回収年 (年)	省エネ検討組織体制の整備	1	100	-	-	ボイラーの運用変更	1.5	125	-	-	ボイラーの空気比低減	0.5	40	-	-	空調設定温度の緩和	2.0	150	-	-	空調室外機のフィン清掃	2.0	140	-	-	冷水ポンプインバータ化	5.0	800	1,600	2	空調機の間欠運転	15.0	1,200	-	-	天井照明の間引き	0.5	55	-	-	天井蛍光灯のLED化	6.0	500	5,000	10
	削減量 (kL/年)	削減金額 (千円/年)	投資額 (千円)	回収年 (年)																																															
省エネ検討組織体制の整備	1	100	-	-																																															
ボイラーの運用変更	1.5	125	-	-																																															
ボイラーの空気比低減	0.5	40	-	-																																															
空調設定温度の緩和	2.0	150	-	-																																															
空調室外機のフィン清掃	2.0	140	-	-																																															
冷水ポンプインバータ化	5.0	800	1,600	2																																															
空調機の間欠運転	15.0	1,200	-	-																																															
天井照明の間引き	0.5	55	-	-																																															
天井蛍光灯のLED化	6.0	500	5,000	10																																															
効果	<p>診断結果に基づき、投資額や削減効果から対策の優先順位を検討することにより、効率的に対策を実施することができます。</p>																																																		
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診断にあたり、多くのデータを求められる場合があるため、事前の準備が必要です。</li> <li>・ 診断結果（削減効果）は、国等の各種補助金を申請する上での根拠資料としても活用できます。</li> </ul>																																																		